

# 福井国体男子監督 参加レポート

2018/10/7（日）福井県高浜町にて

成年男子監督 児玉聡美

いわて国体に続き二回目の国体監督業を無事、貫徹してまいりました。

大会本番に至るまで WTU 強化普及委員会のみなさま、WTU 事務局、JTU 近畿ブロック強化委員会の皆様には大変お世話になりありがとうございました。

とくに早朝からのプール開放やドラフティング練習会、現地試走会など、お忙しい時間を割いてご指導・お骨折りいただいた強化普及委員会メンバーの皆様には心より感謝申し上げます。

この何十回と開催された練習会のおかげで、スキル向上はもちろんのこと、チーム和歌山としての結束も強まり、和気藹々としたいいムードのまま大会に臨めたことは大きな成果であったのではと思います。

前回の岩手大会は初の国体監督かつ初の正式大会、つまり「前例」がなくすべてにおいて試行錯誤で、加えて土地勘ない場所へのツアー計画・体協への膨大な書類提出・会計・ユニフォーム選定とほぼひとりでこなしたため忙しさの中で自分を見失ってしまい、肝心の監督業すなわち選手への配慮に欠けたことは大きな反省点でした。しかし今回は女子監督の川崎さんが書類事務一式を引き受けてくれて負担がかなり少なくなり、当日もそれまでも強化普及委員会のメンバーサポートがあったことで、今回はかなり落ち着いて冷静に選手をスタートラインに送り出すことが出来ました。

高浜の選手宿舎も一棟貸し切り かつ 選手ひとり一部屋という恵まれた環境であったし、加えて近畿近隣府県選手が徒歩圏内に宿泊しており、宿の方の心こもった食事も毎度とても美味しく、これは選手にとって、大会への緊張もほぐれ、レースへの準備・心構えも落ち着いて出来たよい環境だったと思います。福井県の配慮に感謝です。

ただ、9月から次々日本を襲った大型台風の懸念は今回も残念ながら外れることはなく、日本海に針路を取った台風は日本沿岸からは離れた通過コースとはなったものの、前日試泳がなくなり、かつスタンダードからスプリントレースに変更となってしまう、その点は少し残念でした。

（大会自体はほぼ予定どおり無事開催されたので良しとせねばなりません）

スプリントになったことで、男子二選手とも思った結果が出せなかったとは思いますが、経験の浅さを鑑みても国体という大舞台で2選手ともほんとうによく健闘してくれたと思います。心から拍手を送ります。今後のさらなる活躍を心から期待しています。

あと末筆になりましたが、予備登録の笠原選手には大会前も大会中も助けていただき大変感謝しています。参加出来なかったですが同じく予備登録の寺田選手の超熱心な練習への取り組みと前向きさ直向さはチーム和歌山の底上げ役&明るい灯ともなりました。ありがとうございました！

余談ですが和歌山県サポートメンバーはオレンジののぼりを一人ずつ掲げていたのですが、それがとても目立ち、選手からもよく目に飛び込んだようで、会場アナウンスでも度々取り上げられました。のぼりを持っての応援は大成功・大正解でした。

以上です

【大会結果／データ】

井辺 弘貴選手 0:57:33 30位／92人

坂口 直人選手 1:00:07 59位／92人

水温：23.0℃（6:30 現在） 気温：20.5℃ 天候 曇り，風速 2m/sec，北西



スタートセレモニー



ランフィニッシュ（左：井辺選手 上：坂口選手）



よく目立ったチーム和歌山のオレンジのぼり



チーム和歌山